

映像文化ライブラリー開館40周年

5月1日に開館40周年を迎える同館で、記念企画「新藤兼人特集」を開催します。

映像文化ライブラリー(☎223-3525、☎228-0312)

地方自治体初の 映像・音楽専門施設

映像文化ライブラリーは、市が目指す国際平和文化都市実現の一環として、1982年5月1日に開館しました。

原爆や広島に関するフィルムをはじめとした日本映画などの映像資料とレコード・CDなどの音楽資料を収集・保存、上映などを行う専門施設です。

知られざる名作に会える場所

同館ホールでは、所蔵する日本の名作映画をはじめ、目に触れる機会の少ないアジアやヨーロッパなどの作品も上映しています。

※毎月本紙1日号6頁で上映スケジュールの一部を掲載しています。詳しい上映スケジュールは、同館ホームページで

映像文化ライブラリー

検索



開館40周年 生誕110年 新藤兼人特集

広島市出身の新藤兼人監督の生誕110年、没後10年にちなみ、開館40周年記念企画として「新藤兼人特集」を開催。人間の心の深淵や社会問題、戦争や原爆がもたらす悲劇、自らの家族や故郷広島など、さまざまなテーマに取り組んだ新藤作品の数々を、ぜひこの機会にご鑑賞ください。

■ 第1期(4~6月)

監督デビュー作「愛妻物語」、被爆体験をテーマの中心に据えて国内外で大きな反響を呼んだ「原爆の子」、セリフを用いない斬新な手法でモスクワ国際映画祭のグランプリを受賞した「裸の島」など

■ 第2期(10~11月)

1970年代以降の作品を上映。隣接の中央図書館で、「新藤兼人展」を開催予定

●場所 中区基町3-1

●開館時間 (火)~(土)の10:00~20:00(日、祝・(休)、8月6日は17:00まで)

●休館日 (月)(8月6日と祝・(休)は開館)、祝の振替日、12月29日~1月4日

●鑑賞料 大人510円、高校生相当年齢・シニア250円(上映作品により変更あり)

■ 第1期の上映スケジュール

上映日	作品	上映日	作品
4/13(水)	愛妻物語	6/2(木)	人間
14(木)	雪崩	3(金)	母
15(金)	縮図	4(土)	鬼婆
17(日)	女の一生	5(日)	悪党
20(水)	どぶ	9(木)	尖石遺跡 蓼科の四季
5/1(日)	原爆の子	10(金)	本能
3(祝)	狼	11(土)	性の起原
4(祝)	銀心中	12(日)	藪の中の黒猫
7(土)	流離の岸	15(水)	強虫女と弱虫男
8(日)	女優	16(木)	かげろう
12(木)	海の野郎ども	17(金)	触角
13(金)	悲しみは女だけに	18(土)	裸の十九才
14(土)	第五福竜丸		
15(日)	花嫁さんは世界一		
18(水)	恋人らくがき黒板		
19(木)	裸の島		

※上映時間・鑑賞料は、同館ホームページなどでご確認ください

新藤兼人

1912年、佐伯郡石内村(佐伯区五日市町石内)生まれ。1934年、映画界に入る。1951年、「愛妻物語」で監督デビュー。98歳で監督を務めた「一枚のハガキ」が遺作となる。2012年、100歳で逝去。

2003年、市は、原爆の悲惨さや核実験による被爆の悲劇をテーマとした作品を通じて平和を訴えるなど、平和の推進と文化の振興に尽力したとして、名誉市民の称号を贈る。

© 近代映画協会



元気なまちづくりプロジェクト

コロナ禍での社会経済活動の再開に向けて、中長期的な視点に立ち、地域の魅力を高める地域団体の挑戦を支援します。

☎地域活性推進課(☎504-2837、☎504-2029)

■ 対象

3人以上で構成する、市内で地域の活性化やにぎわいづくりに取り組む団体(町内会・自治会、商店街、NPO法人 など)

■ 補助対象/補助率/補助限度額

「新しい生活様式」などを踏まえて、中長期的な視点に立ち、地域の魅力を高める新たな取り組みを行う団体の活動に要する経費/10分の9/1000万円

■ 対象となる活動の例

- 来訪者が訪れやすくするための、山や川、海岸などの環境づくり
- 直売所やキッチンカーの導入など、地産地消により地域経済

の好循環を生み出す活動

- デザインを活用した、地域や地域の名産品のPR など

■ 募集期間

5月13日(金)(必着)まで

■ 応募方法

所定の申請書を区地域起こし推進課か商業振興課へ持参。申請書は市ホームページ、区地域起こし推進課、商業振興課で。予算の範囲内で、審査会での採点結果が上位の事業から交付決定

詳しくは市ホームページで

市HP ページ番号 176065



夜間・早朝を活用したにぎわい創出

観光需要の回復を促進するため、夜間・早朝の時間帯を生かした新たなイベントなどを行う民間事業者を支援します。

☎観光政策部(☎504-2243、☎504-2253)

■ 対象

株式会社、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、NPO法人、商店街振興組合などの法人格を有する者

■ 補助対象/補助率/補助限度額

- 定期的に実施する夜間・早朝のイベント/5分の4/2000万円
- 夜間・早朝のイベント(単発実施も可)/5分の4/500万円
- 夜間・早朝の観光資源のPR活動/5分の4/500万円

■ 要件

- 多くの観光客を集客し、夜間・早朝の観光振興につながる取り組み
- 市内で実施される取り組み

○夜間か早朝の時間帯を含む取り組み など

■ 募集期間

4月28日(木)(必着)まで

■ 応募方法

所定の申請書を観光政策部観光企画担当へ持参か郵送(〒730-8586 住所不要)で。申請書は市ホームページで。予算の範囲内で、審査会での採点結果が上位の事業から交付決定

詳しくは市ホームページで

市HP ページ番号 264540



新型コロナワクチン

一部の集団接種会場では、当日の予約で接種が受けられます

新型コロナワクチンの集団接種会場の予約受け付けは、接種日の前日までとされていますが、次の会場では予約枠に空きがあれば、当日の予約で接種が受けられます。

会場	所在地	使用ワクチン
日本通運(株)広島支店西広島倉庫	西区草津港三丁目4-1	モデルナ

■ 予約方法

- 「当日予約」の専用電話※(070-2446-1795)で受け付けます。
- ※予約コールセンターやインターネットでの予約はできません
- ※当日予約以外のお問い合わせは対応できません

詳しくは市ホームページで 市HP ページ番号 217375



市内へ転入してきた人は接種券発行の手続きが必要です

市内へ転入した人で、3回目までの接種が終了していない場合、今後の接種には市が発行する接種券が必要です。

※転出元の市町村から発行された接種券は使用できません

■ 接種券の発行手続き

接種券の発行に当たり、ワクチンの接種状況を確認する必要があるため、転出元の市町村から発行された接種券や、接種記録を確認できる予防接種済証または接種記録書などを、お住まいの区の地域支えあい課へ持参し、申請してください。郵送による申請受け付けも行っています。

詳しくは市ホームページで 市HP ページ番号 217375



☎広島県新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター(☎513-2847)